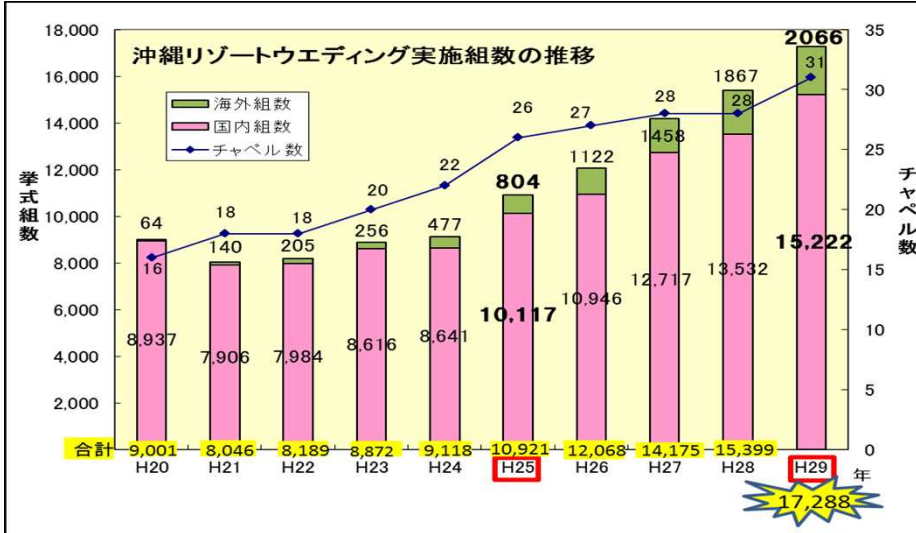


〈統計ピックアップ〉

6年連続過去最多更新！！ 沖縄リゾートウエディング

はいたい。4月になりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。

今月は、6年連続で過去最多を更新した「沖縄リゾートウエディング」について調べてみました。「沖縄の統計 No.430」で一度取り上げていますので、そのときのデータ(平成25年)と比較してみたいと思います。では、業務の合間にでもお付き合いください。



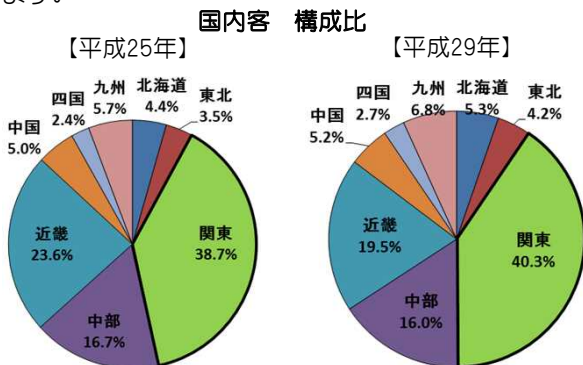
平成29年1月から12月「沖縄リゾートウエディング」の実施組数は、対前年比112.3% (1,889組増) の17,288組と過去最高となりました。内訳は国内組数が対前年比112.5% (1,690組増) の15,222組、海外組数が対前年比110.7% (199組増) の2,066組となっています。沖縄県の目標の16,000組を超え、増え続けていることがわかります。また、平成25年と比較すると、6,367組(国内:5,105組、海外:1,262組)増となっています。

では次に、地域別の状況(国内客、海外客)を平成25年と比較しながら見ていきましょう。

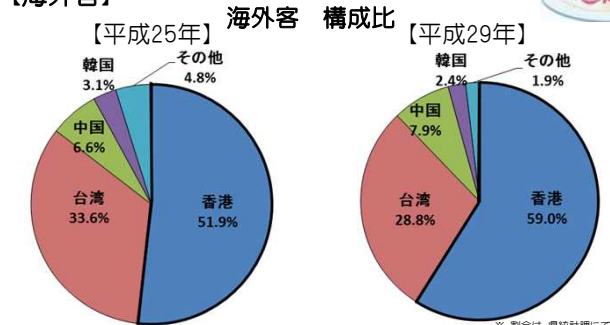
【国内客】

国内客の状況を見てみると、平成25、29年どちらも関東地方からの申し込みが最も多く全体の約4割を占めています。都道府県別では、東京都からの申し込みが最も多くなっています。

平成25年と比べると中部及び近畿地方の割合は減っていますが、その他の地域は増えています。



【海外客】

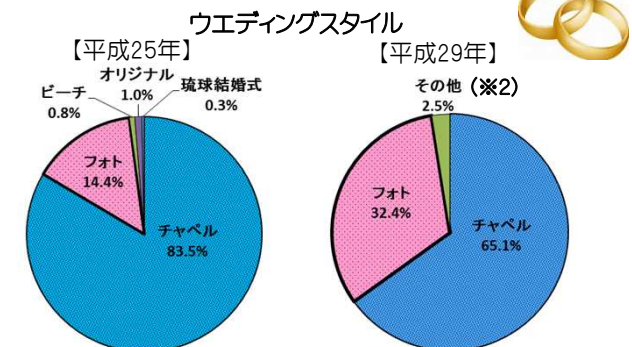


海外客の状況を見てみると、平成25、29年どちらも香港からの申し込みが最も多くなっています。

海外で現地の法律に基づいて挙式をすることを「リーガルウエディング※1」といい、香港カップルに人気があります。香港ではリーガルウエディングを挙げたカップルは本国で宣誓式を行う必要がないことや、各市町村で発行される婚姻届受理証明書が重宝されることが人気の理由のようです。

次に、ウエディングスタイルの状況を見てみると平成25、29年どちらも最も人気の高いのはチャペルウエディングとなっていますが、平成29年は平成25年と比べて、海辺や城趾など沖縄らしい景観の中で写真を撮るフォトウエディングの割合が約2.2倍と大幅に増加しています。

また、他にもビーチウエディング、レストランウエディング、琉装ウエディング等があります。多様な選択肢があることも実施組数を押し上げる要因となっているようです。



チャペルウエディングとフォトウエディング、どちらも素敵ですね。皆さんならどちらを選びますか？

※1 リーガルウエディングとは、海外で現地の法律に基づいて挙式をすることであり、国によって条件・形式が異なります。日本では、戸籍法に基づき婚姻届を市町村役場に届け出ることを指します。

※2 平成29年のその他の内訳は現在未公表となっています。

(資料) 沖縄県観光振興課「平成29年沖縄リゾートウエディング統計調査結果(年間)」